

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	福知山公立大学運営費交付金事業												
事業担当	所属	03030000 市長公室 大学政策課				所属長	岸本 範義						
会計情報	事業コード	660105	款	10 教育費	項	07 大学費	目	01 大学振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	256	頁
施策体系	施策コード	020501	施策名	地域の将来を担う人材を育成する									
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	「知の拠点」整備構想							
根拠法令等	公立大学法人福知山公立大学運営費交付金交付規則												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	公立大学法人福知山公立大学の基本理念である「市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学」の実現に向け、業務遂行にかかる財源として、また令和2年度から2学部200名体制となるにあたり必要な財源として、運営費交付金を交付することにより、法人の安定的かつ持続的な経営、大学の健全な運営を図ることを目的とする。												
対象者	福知山公立大学生及び教職員				対象者数	515		単位あたりコスト	543.6				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	公立大学法人福知山公立大学												
事業概要 (簡潔書き)	公立大学法人福知山公立大学の運営に必要な経常経費を運営費交付金として交付した。 《令和元年度内訳》 収支不足分 124,000千円(入学定員が少ない当面の間に発生する経常赤字を補てん) 先行投資分 59,000千円(地域振興基金) 地方交付税措置分 96,248千円 ・学生数456人×212,000円=96,672千円 ・過年度精算分 -424千円												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	279,248	福知山公立大学運営費交付金										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	282,104	279,248	431,378	479,594					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①~③)	282,104	279,248	431,378	479,594						
予算財源内訳	① 一般財源	282,104	220,248	431,378	479,594					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	59,000	0	38,000					
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0					
	② 配当予算	282,104	279,248	0	0					
	③ 執行額	282,104	279,248	0	0					
	④ 執行率	100.0%	100.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.11/0	0.09 / 0.00	0.09 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	880	720	720	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	282,984	279,968	720							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	「知の拠点」推進事業基金繰入(地域振興基金)		種類	基金繰入金	実績金額	59,000	決算付属資料	38	頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	在学生数	人	267/267	366/368	469 / 461	/ 601	814
大学運営の健全化(収支不足額の削減)	百万円	258/258	199/199	124 / 124	/ 20	収支不足の解消	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	全就職者数に占める北近畿地域への就職者数	人	6/25	6/19	12 / 57	/ 159	50
	単位あたりコスト		2559.00	2137.20	23270.67		
	志願者数の確保	人	761/600	665/600	763 / 850	/ 850	850
単位あたりコスト		403.52	424.22	365.99			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 地方独立行政法人法第42条の規定により、法人の設立団体である本市のみが実施することができる代替性のない事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 設立時から当面の間は地方交付税及び福知山市一般財源で賄うことを踏まえ、法人においては徹底した支出抑制と収入確保に努めており、市からの負担金を最小限に抑えている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 北近畿地域において、地域課題解決に向けたアンケート調査・分析、フィールドワーク等を行ったことにより、学生の課題解決力、コミュニケーション力等といった社会人基礎力の向上につながったとともに、地域活性化に向けて地域住民からの期待も徐々に高まっているため有効性が高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>令和元年11月に文部科学省から情報学部を設置が認可され、2学部入学定員200名体制が実現した。また、公立大学法人が中心となり高校を訪問して、大学の周知に努め、763名の志願者(志願倍率3.8倍)を獲得、212名が入学した。</p> <p>教育研究活動においては、福知山公立大学の特色である「地域協働型実践教育研究」に取り組み、地域課題の解決に寄与した。また、福知山市をはじめとする北近畿地域において多くのフィールドワークを実施したほか、北近畿地域の行政職員等が講義を行う「グローバル特別講義」など、特色ある科目配置を行うとともに、各教員による地域の企業等と連携した研究活動に取り組んだ。</p> <p>福知山公立大学入学1期生の57名が卒業し、そのうち12名が北近畿地域の企業や行政機関に就職した(福知山市内企業、行政機関には5名就職)。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>引き続き福知山公立大学を支援し、教育研究活動の充実、学生確保に向けた募集活動、さらには外部資金の獲得やコスト削減による業務改善を通じた公立大学の財務基盤の強化に取り組んでいく。</p> <p>北近畿地域からの志願者及び入学人数が少ないため、福知山公立大学の中期目標前文に掲げる「地域で学び、地域で働く」という人材循環するシステムの構築に向けて、北近畿地域の高校への大学周知による志願者数の確保及び北近畿地域への若者定着に向けて就職支援に取り組む必要がある。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> 地域経営学部と情報学部との文理連携による北近畿の各界との地域連携・地域協働活動の充実を図るために必要な経費を運営費交付金として「知の拠点」整備構想に基づき交付する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	福知山公立大学就学生支援事業									
事業担当	所属	03030000 市長公室 大学政策課				所属長	岸本 範義			
会計情報	事業コード	660106	款	10 教育費	項	07 大学費	目	01 大学振興費	会計	01 一般会計 決算付属資料 256 頁
施策体系	施策コード	020501	施策名	地域の将来を担う人材を育成する						
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-				
根拠法令等	福知山公立大学入学支援金支給要綱、福知山公立大学奨学金支給要綱									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山公立大学に入学し、または在学する者の修学意欲の向上を図るとともに、経済的理由により修学が困難である者に入学支援金・奨学金を支給することにより、社会に有為な人材の育成を図ることを目的とする。また、奨学金事業の創設を通して、福知山公立大学の教育環境の充実を図ることにより、志願者の増加を目指す。								
対象者	福知山公立大学生	対象者数	469	単位あたりコスト	5.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡潔書き)	【福知山公立大学入学支援金】 ・入学生及び新規編入学生を対象に入学時1回限り支給。所得制限、住所要件あり。 ・支給額：30,000円～282,000円 【福知山公立大学奨学金】 ・1回生から4回生までを対象に最長4年間支給。所得制限、住所要件、成績要件あり。 ・支給額：月額10,000円～20,000円								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	扶助費	840	福知山公立大学奨学金						
	扶助費	282	福知山公立大学入学支援金						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	6,360	4,162	470	470				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	6,360	4,162	470	470					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	6,360	4,162	470	470				
決算情報	① 流充用額	△ 1,440	△ 881	0	0				
	② 配当予算	4,920	3,281	0	0				
	③ 執行額	2,342	1,122	0	0				
	④ 執行率	47.6%	34.2%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.13/0.17	0.06 / 0.30	0.06 / 0.30	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,465	1,230	1,230	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,807	2,352	1,230						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山公立大学就学生支援事業基金繰入(ふるさと創生事業基金)	種類	基金繰入金	実績金額	1,122	決算付属資料	40	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	制度利用し卒業に至った人数	人	0/0	0/0	1 / 1	/ -	制度利用者全員
入学者数	人	158/120	125/120	139 / 120	/ 200	入学定員充足	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	入学支援金利用者数	人	26/21	9/28	3 / 22	/ -	制度条件に合致する学生全員
	単位あたりコスト		195.69	260.22	374.00		
	奨学金利用者数	人	19/9	11/27	5 / 29	/ -	制度条件に合致する学生全員
単位あたりコスト		267.79	212.91	224.40			

V 事業担当部署評価			
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 教育の機会均等を図り、社会に有為な人材の育成を図るという制度趣旨や福知山市民の数を増加させるという観点を踏まえると、法人設立団体である本市が実施することが望ましい。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 市内高校生の進学率の向上、また市内高校生に対する優遇措置を図る観点から、市外出身者より市内出身者の奨学金額を高く設定している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標については経済的に困窮する学生の学びの継続を支援するものであり、その成果として制度利用者のうち大学教育を修了した者(4回生)の人数を設定している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>経済的な理由により修学が困難な学生に対し、入学支援金・奨学金を支給することにより、修学意欲の向上や自己実現支援を図ることができた。また、学生募集活動に際しても、各高校から本制度を高く評価する声を多く受けている。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 本奨学金は、対象学生及び保護者の教育費負担を低減するとともに、本市への転入を前提条件としていることから市民の数の増加にもつなげる効果的な施策である。寄附金を財源として事業を運営し、市のふるさと納税でも本制度への支援を重点的に呼びかけており、学生を市と市民が支える仕組みとしては一定の意義がある。 令和2年度から国の高等教育無償化制度が創設されることから、「福知山公立大学入学支援金」、「福知山公立大学奨学金」を廃止し、代わって国の制度の対象とならない福知山市民の入学者に対して入学金の減免制度を新設する予定である。新設する減免制度においては、北近畿地域の公立大学として地域全体で大学を支えるために近隣市町へも同様の減免制度の創設を呼び掛けていく。 		

VI 他部署評価	
事後事業評価	
事中山業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針		
	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度から実施した高等教育無償化制度に該当しない福知山市出身の入学生に対する入学金の減免制度を継続する。

VIII 予算反映結果			
予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 他事業を統合	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <small>(統合事業名:)</small>	<input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <small>(統合先事業名:)</small>